

平成30年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

KDさん

●留学先

国/都市：米国/オハイオ州デイトン

外国の高校：Butler High School

●留学期間

2018年8月23日～2019年6月26日

●留学先での活動、留学で学んだこと

私がアメリカに留学しようと思ったのには、様々な理由がありました。小さい頃から海外での生活に憧れていたこと、英語を上達させたかったこと、外国に住んでみることでより広い視野を持ちたかったこと、などです。留学を終えて振り返ってみて、自分が達成したかったことは全て達成できたと思います。違う国へ行ってみることでその国のことだけではなく、比較して日本のことも改めて留学前とは違う視点で見られるのがとても興味深いです。世間一般でも言われている通り、アメリカ人達はどちらかというと勉強や仕事より友達や家族とのコミュニケーションを優先していて毎週末家族全員で出かけたり、家に友達を呼んでパーティーを開いたり、日本人と比べてとてもんびり生きていて、今や「ストレス社会」などと呼ばれ、働きすぎが問題となっている日本には学ばなければならないことがあるなど実感しました。そして何より一番驚いたのは日本のことをよく知らない人が多いということです。アメリカ人達と話していて、日本のことをきっと先進国だと思っていないんだろうなということが多々ありました。具体的な例をあげると、車に乗ったことはある？やハンバーガーは食べたことはある？と聞かれることです。日本は本当に変な国だ、と同級生が言っているのを耳にしたこともありました。日本といえば万人が知っているのは寿司ぐらいでアメリカ人は日本のことをあまり知らず、また日本にいいイメージを持っている人は少ないように感じ、少し悔しい気持ちになりました。将来的に、日本の良いところをどんどん発信して行ってみたい、とたくさん外国人が思える様な活動がしたいです。また今回の留学で伸ばした英語力を生かし、世界中の貧困で困っている人達を助けられる様な職に就きたいと思っています。アメリカでも、大きな家に住んで裕福な暮らしをしている人々がいる一方で路上でボードを持って立っているホームレスの人を見かけることも多々ありました。そういったこの国にも少なからず存在する貧困層と富裕層のギャップを埋めていくのに貢献していきたいです。今回の留学は私にとってかけがえのない、忘れられない経験となりました。最後になりましたが、留学を支援してくださった横浜市には心から感謝しています。